

# 宮城県味噌醤油工業協同組合

## 仙台味噌

### 基本情報

対象国 東アジア、東南アジア等 輸出額 101万円（見込）

加盟者数 35社（輸出部会は13社）

主な販売先 小売・日本食店

活動地域 宮城県

品目数 単一

希望スキーム 間接輸出

備考 -

## 仙台味噌の産地全体でのブランド確立を目指し、プロモーション・海外販路開拓を実施

仙台味噌の産地全体でのブランド確立を目標に、仙台味噌の優位性を伝えるとともに生産背景やストーリーを広く伝えるためwebサイトやプロモーション動画の作成等ブランディングを実施。産地としての輸出基盤構築を目指す。

### 団体概要

所在地 宮城県仙台市

設立年 1947年

事業内容 組合員取扱品の共同購買、事業に関する指導、研究・調査、製品検査、教育及び情報の提供等

認証取得 -

生産規模 -



### 取組の経緯 / 概要

- ・海外で味噌の需要・関心が高まる中、輸出に取り組もうとする意志のある組合員が増加しているものの、知識・経験がなく取組を躊躇している事業者が多い。輸出に取り組むにあたり有識者や関係機関との連携を強化し、輸出拡大に向けた人材育成やスキルの構築を行い、各社が輸出商談および輸出実務をこなすことを目指す。
- ・産地全体で連携体制を構築し、仙台味噌の認知向上と、販路獲得に向けマーケティングを行い、産地ブランディングを実施し継続的な輸出販路の獲得を目指す。

### 取組の成果

- ・輸出額：100万円（2021年度）→101万円（2022年度見込）

# 取組のポイント

**仙台味噌の個性を科学的に可視化してブランディングを実施、同時に組合員の輸出知見を高め輸出拡大を目指す**

## 輸出を進める上で抱えていた課題

TASK

課題  
1

仙台味噌は海外バイヤー・消費者から認知度が低く他味噌との違いも認識されていない

TASK

課題  
2

各社の仙台味噌の個性や他の味噌との優位性が明確でなく、魅力を伝えきれない

TASK

課題  
3

組合員の大多数が輸出未経験であり、商流のプロセスの理解が必要となる

## 輸出成功のポイント

webサイト・動画等の制作によるブランディング

仙台味噌の魅力や情報を伝える他言語webサイトや動画、パンフレット等を作成し、プロモーションに活用

研究機関と協力し仙台味噌の個性を可視化

仙台味噌と他地域の味噌の合計18検体の味を科学的に分析し、グラフ化。分析したデータはプロモーションにも活用

有識者研修会による人材育成

JETROによる研修会や、民間団体の輸出取組の紹介等を実施し、知識を習得

# サプライチェーン別取組

海外ニーズに合わせた商品開発

- アンケート調査によって得られたデータを元に、ターゲット国に受け入れられやすい商品の開発や設計を検討する

留学生とのコラボレーションによる情報発信

- 東北大学において授業で仙台味噌の特徴や歴史を伝えたいと、留学生には母国に向けてサイトや動画をSNSにて投稿してもらい仙台味噌の周知を進めようとしている

共通のロゴ等作成による統一ブランドでの訴求

- 共通のロゴ・Webサイト・パンフレットを作成することで各社で商談会等に参加する際も統一ブランドの訴求が可能となる

商品選定・開発

流通

販売

## 今後の輸出拡大に向けて

海外には我々の想像を超えるマーケット獲得の可能性があると信じています。仙台味噌が赤味噌のスタンダードとして海外で親しまれるよう、産地一丸となった仙台味噌の販路拡大を目指したいと意気込んでいます。